



Affiliated with The International Association of Y's Men's Clubs
Chartered : 10 May, 1961

東京むかでワイズメンズクラブ

THE Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO-MUKADÉ "CENTIPEDE"

Office : Tokyo YMCA Toyoko Center
2-2-20 Toyo, Koto-ku, Tokyo, Japan

〒135-0016 東京都江東区東陽2-2-20
東京YMCA東陽町センター内
TEL 03-3615-5568

2017年7月 ~ 2018年6月

会長 城井 廣邦
副会長 櫻井 浩行
直前会長 土井 宏二

国際会長主題 「ともに、光の中を歩もう」
アジア会長主題 「ワイズ運動を尊重しよう」
東日本区理事主題 「広げよう ワイズの仲間」
東新部部長主題 「E人（イーヒト）になろう」

書記 鈴木 健彦
会計 今井 武彦
担当主事 星野 太郎

2018年 5月例会 (675回)

(強調月間 : EF/JEF)

今月の聖句

あなたの神、主は、あなたのすべての働きと
手の技を祝福してください。 (申命記 15-10)
The LORD your GOD will bless you in all your
work and in everything you put your hand to.
(Deuteronomy 15-10)

シニアY・Y・Yキャンプを楽しもう！！

日時 : 5月12日(土) ~ 15日(火)
場所 : 東京YMCA山中湖センター
〒401-0502 山梨県南都留郡山中湖村平野419

5月本例会

日時 2018年 5月 14日(月) 18:00 ~ 19:15
場所 東京YMCA山中湖センター
TEL 0555-65-7721
参加費 シニアY・Y・Yキャンプ参加費に含まれています。

5月 EF/JEFについて

EF : エンダウメントファンドは、国際ワイズ発展のための特別な基金。\$100以上寄付するとゴールデンブックに掲載されます。
JEF : 東日本区ワイズ基金は日本のワイズ運動の継続的奉仕活動を支えるための基金。(高津 記)

HAPPY BIRTHDAY

16日 城井廣邦 21日 森本路子
結婚記念日おめでとう
10日 阿山剛男・博子 14日 城井廣邦・姚子
18日 伊丹一之・節子

5月本例会 プログラム

準備 櫻井浩行 吉田 司
受付 吉田 紘子
司会 伊丹 一之
開会点鐘 会長 城井 廣邦
ワイズソング 一同
ゲスト・ビジター紹介 司会
入会式 司式 櫻井 浩行
今月の聖句・感謝 星野 太郎
楽しい食事
卓話 「むかでクラブ創立記念日によせて」
東新部次期部長 神保伊和雄
強調月間アピール 高津 達夫
ハッピーバースデー・結婚記念 司会
諸報告 各担当者
閉会挨拶 副会長 櫻井 浩行
閉会点鐘 会長 城井 廣邦

2018年 4月の記録 (*累計は期初からの24累計)

会員出席状況		メーキャップ記録		スマイル	10.700 円
正会員	13名	出席(メネット)	0名	1名	BFポイント 現金累計 0円
功労会員	1名	出席(コメット)	0名	鈴木健彦 4/3 印刷会	切手累計 0
在籍者数	14名	出席(ゲスト)	1名		
出席(正会員)	10名	出席(ビジター)	0名		リングプル 累計 422.76 Kg
出席(功労会員)	0名	例会出席総数	11名	出席率 85%	むかで基金 今月分 82.055 円

会費振込先 みずほ銀行 津田沼支店 普通預金 2406490 東京むかでワイズメンズクラブ

4 月 本 例 会 報 告

東京むかでワイズメンズクラブ4月本例会は、4月17日(火)午後6時30分より、東京YMCA東陽町センター1階・旧視聴覚室において開催されました。

当日は、体調を崩した鈴木君に代わり、高津君が司会進行を担ってくださいました。城井会長の点鐘で開会。ワイズソング、ゲストの紹介、今月の聖句と感謝の祈りは神保君が捧げました。引き続き、楽しい食事を食べました。



本日の卓話者は城井信正氏(城井会長の実弟・以下信正社長)【写真】をお招きして、「未来への創造性開発」と題してお話をいただきました。

信正社長は1970年千葉大学工業意匠科を卒業し、日産自動車(株)杉並工場に入社。自動車のデザインを担当し、1980年には同社ニューヨーク事務所に勤務し、より広い視野の下で仕事をなさいました。35年間日産自動車勤務後、独立開業、㈱シロイアソシエイツを設立。

以降、大学、化粧品メーカー、地方の企業経営者グループの講師・コンサルタントをやる傍ら、自身で創造性を駆使してユニークな商品開発を行う。

お話は、「創造という行為」は、想像すること・創造することの二つの過程があり、さらに創造は、一定の条件下での創造・常識を超えた創造へと進む。

人は生物として生態的に様々な状況(ホルモン、遺伝、精神状態、感情、情動等..)下で効率よく脳を働かせるために生物脳専用のOS(基本ソフト)が必要になります。このOSを「創造性という脳力」(以下創脳)と定義し、これを日々鍛え磨いていけるのが人間です。私たちが、日々創脳を鍛え磨いていけば、AIの進化を無意味に恐れることはない。

創脳は、日常の中で、負のイメージなる物・事象を、正常に戻そうと修正し、さらに一歩進んで新しい正常なる物・事象を作り出すこと、その過程そのものが大切なのだと話をまとめられた。

これは、私たちの生き方そのものと感激した。

この後は、高津君の強調月間アピール、結婚記念日おめでとうは櫻井君、スマイルは神保君、諸報告は星野君で行われた。特に、土井君の休会申出の扱い・土井メネットの快癒、森本君の体調回復を願った。最後に、櫻井副

会長の閉会挨拶、城井会長の閉会点鐘で4月例会を終了しました。(今井 記)

出席者:城井、伊丹、今井、櫻井、神保、高津、長谷川、星野、吉田司、吉田紘

ゲスト: 城井信正(シロイアソシエイツ社長) (敬称略)

むかでクラブ創立記念日によせて

1961年5月10日、ワイズメンズクラブ国際協会日本区で35番目のクラブが誕生しました。名称は「東京むかでワイズメンズクラブ」(以下むかでクラブ)。東京YMCAの少年長期キャンプ「野尻学荘」のOB達を中心として設立されました。

私財を投じて野尻湖畔にキャンプ場を作り、東京YMCAに寄贈、そして「野尻学荘」を創設した日本橋の砂糖問屋「合名会社百足屋」経営者小林弥太郎氏にあやかって命名したものです。なお、同氏は山中湖キャンプ場も寄贈して下さりました。

「野尻学荘」は1932年(昭和7年)に開設された東京YMCAの少年長期キャンプです。当初は、夏休み中の5週間のキャンプでしたが、現在は、13泊14日で、小学校5年生から高校3年生までの男子が対象です。参加経験者からは、大塚信一氏(元岩波書店社長)、氏家純一氏(野村ホールディングス会長)、村井純氏(慶応義塾大学教授・インターネットの父)など著名人を多く輩出しています。

むかでクラブの会則の第2章(目的)の6項に「YMCAの各方面のプログラムを遂行するため、個人としても、クラブとしても積極的に奉仕する。特に東京YMCA、および野尻学荘を始めとする野外活動事業の維持発展のために奉仕する。」とあります。今日まで50有余年にわたり「野尻学荘」を支援してきています。

地域社会奉仕として1983年3月15日に「第1回むかでユニークダンス・パーティー」が開催されました。「ユニークダンス」のコンセプトは、①身障者と健常者とが共に生きる。②障害は個性であるとの考え方。③身障者のために何かをするのではない。④身障者と健常者とが共にダンスを楽しみながら交わりを深める。手や足や視力などが不自由な方たちが、それぞれ工夫した踊り方(例えば車椅子を使ったり)で、健常者と共に楽しむソーシャルダンスです。



2014年11月4日の「第62回ユニークダンス・パーティー」【写真】を最後にこの活動は終わりました。31年間にわたり

年2回のペースで主催してきました。開始当初は、今日ほど身障者の社会参加が進んでいないときでした。その後、身障者への行政施策も進められ普及したので、私たちの目的を達成できたとして終了しました。

時代は変わり、人生100年時代に向かっております。多くのシニア世代のための新しいプログラム「シニアY・Y・Yキャンプ」をスタートさせました。若き日を思い出してワイワイ楽しく無理せず、若々しい気持ちを持って、ご参加ください。最後に、むかでクラブでは、このようなクラブ活動を支えてくださる方々を求めています。入会希望者大歓迎です。

(櫻井 記)

「川口こども食堂支援」お礼状いただく

2016年7月～2018年3月まで、むかでクラブとして支援してきた「川口こども食堂」が、3月末で一旦、お休みすることとなりました。これに対して、主催者の鈴木牧師ご夫妻よりこれまでの支援のお礼の手紙をいただきました。以下手紙の主要点を引用いたします。

「月に2回という少ない開催の中で、…この働きを通して地域のお子さんや親御さんと知り合い、関りを持つきっかけが与えられたことは大きな収穫でした。…シングルマザーで子育てに疲れているママさん、親御さんの精神的不安定さで問題が絶えないご家庭、ご両親の仕事からの帰りが遅く、おばあ様が遠いところから来られて御飯を作っているご家庭、…ちょっと淋しさを抱えている子供たち、様々な方々がこの川口こども食堂に訪れてくれました。

実際的な助けはまだまだこれからだと思いますが、一人でも多くのお子さん、又親御さんが、重荷をちょっとでも降ろし、少しでも生きやすくなり、幸せを掴むきっかけが得られたらと心から願っています。

ワイズメンの皆様、二年間私たちを支えて下さり本当にありがとうございます。」

川口こども食堂は、来年4月から再開の予定です。

(今井 記)

神戸ポートクラブ30周年記念会訪問報告

4月28日(土)13:30～17:15 神戸ポートワイズメンズクラブ創立30周年記念会に参加してまいりました。

第1部の被災地復興支援チャリティーコンサートは、新築の神戸YMCA三宮会館チャペルで行われ、障害者を対象とする福祉事業型「職業訓練校」の生徒によるトーンチャイム演奏「花は咲く」で始まり、続いて神戸YMCA混成合唱団「くさぶえ」の合唱と、フルートとハープのデュオ演奏が行われ、この合間に、神戸ポートクラブの被災地復興支援活動が映像で紹介され、多くの参加者と共に被災地復興支援活動を再認識し、思いを共感しました。

第2部は、会場を近くのグリーンヒルホテル神戸・地下宴会場に移動して、30周年記念例会を式典、親睦会形式で行いました。西日本区各部・クラブを中心とするワイズメン・メネット、YMCA関係者など103名の出席でした。式典の中

で、映像によるクラブ30周年の歩みの紹介、被災地復興支援金・難病支援金等の贈呈、参加者紹介などが行われました。井内クラブ会長、大野西日本区理事のもと、とても楽しい、味のある記念すべき30周年行事となり、DBC交流を確かめ、楽しいひと時を過ごすことができました。神戸ポートクラブの皆様ご苦勞様でした。(高津 記)

新入会員プロフィール

新藤真知(しんどう・まこと、本名・信)

1950年、東京都葛飾区生まれ。両親がクリスチャンであったため、幼少時より賀川豊彦の流れをくむ青戸伝道所に通い、キリスト教に親しむ。高校を卒業後、劇団四季演劇研究所で舞台芸術を学ぶ。1973年、画廊勤務を経て独立、美術展フリーランス・キュレーター／コーディネーターとして日本で初のエゴン・シーレ展、M.C.エッシャー展、G.クリムト展などを手掛け今日に至る。

1997年、日本パウル・クレー協会を設立。編著書に『芸術の非精神的なことについて』(勁草書房、1995年)、『クレーART BOX』(講談社、2006年)、『クレーの旅』(平凡社、2007年)、『クレーの食卓』(講談社、2009年)など多数。

2017-18年度 第3回 東新部 評議会 報告

第3回東新部評議会および次期クラブ役員研修会は、4月21日(土)13:30から、東西線早稲田駅から徒歩5分、日本キリスト教会館6階、東京YMCA本部会議室で開催。

田中部書記の司会で、伊藤部長の開会点鐘で始まり、部長からは主に、①町田地域での新クラブ設立経過、②4部合同EMCシンポジウム、③妙高高原ロッジ感謝さよならパーティーの報告がありました。

議案審議では、①第2回東新部評議会議事録承認、②神保伊和雄次期部長の主題「ワイズの楽しみは、今、そしてこれから」・スローガン「JOIN US!」・活動計画・予算案承認、③次期東新部役員承認、④東京まちだクラブと東京コスモスクラブの合併について、合併後の名称を「東京町田コスモスクラブ」とすることに對し、賛成20票、反対1票で承認。⑤町田地域新クラブ設立に際し、東新部より「新クラブ設立支援金」5万円の支給承認。

報告事項では、①伊藤部長から第3回区役員会報告、②石田部会計から会計中間報告と③各種献金報告、④小川地域奉仕事業主査からは、CS事業支援として、「江戸城ファミリーワーク(東京)」と「ぼんぼこ農園(東京多摩みなみ)」に各1万円を配分、ASF事業支援は東日本区大会に参加する担当主事に1名5,000円支給することとした。休憩をはさんで、⑤各事業報告、⑥各クラブ報告、⑦区大会でのクラブ報告原稿など、連絡確認事項が伝えられました。

16:20からは次期クラブ役員研修会となり、伊丹LT委員・次期部書記が司会を務め、神保次期部長等から次期方針説明。以上で研修を終え、監事講評、東新部の歌を歌い、17:00閉会となりました。(伊丹 記)

出席者:神保、伊丹、今井、櫻井、城井、星野

会長通信

私が会長になる前から、今も、東京むかでワイズでしたかったことは。

誰から見ても「むかでワイズは楽しく、いろいろなコトをやっている」と見られ、その活動には考えがあり、ポリシーを持っていることに共感されることが大切と考えています。これからはじまっていく超高齢化社会にあつて、いつまでも元気に楽しく暮らせるようになり、周囲に負担をかけず、いつまでも自立して生きていくことが大切と考えています。

人生100歳の時代、ただ老人になっていくのではなく、趣味を持ち、スポーツをやり、社会に貢献するボランティアをやりながら、新たなコミュニティライフを実践して、豊かな社会を創造することが大切と考えています。

豊かな高齢化社会へ向かって、今、私達ができるコトの一つとしてシニアY・Y・Yキャンプ、シニアスキーキャンプ、子ども食堂への支援を始めています。楽しい人生を送るために東京むかでワイズメンズクラブの活動に注目してください。そして少しでも関心を持ったなら一緒に楽しい人生を過ごしませんか。

(城井 記)

<5月の予定>

- 1日(火) 東京むかで・ブリテン印刷会
- 1日(火) 東京多摩みなみ・5月本例会
- 8日(火) 東京・5月本例会
- 10日(木) 東京センテニアル・5月本例会
- 12日(土)～15日(火) 第2回シニアY・Y・Yキャンプ
東京YMCA山中湖センター
- 14日(月) 東京むかで・5月本例会 (山中湖センター)
- 14日(月) 東京まちだ・5月本例会
- 18日(金) 東京世田谷・5月本例会
- 19日(土) 東新部事業中間引継ぎ会
- 22日(火) 東京むかで・5月第二例会
- 26日(土) 東京コスモス・5月本例会

<6月以降の予定>

- 2日(土)～3日(日) 東日本区大会(沼津)
- 5日(火) 東京むかで・ブリテン印刷会
- 16日(土)～17日(日) 下田会議(櫻井邸)
- 19日(火) 東京むかで・6月本例会
- 26日(火) 東京むかで・6月第二例会

4月第二例会報告

4月24日(火)午後6時30分より東京YMCA東陽町センター1階・旧視聴覚室において開催されました。

以下協議・報告事項

1. 5月ブリテン作成関係について
2. シニアY・Y・Yキャンプ開催中の5月本例会について
3. 5月本例会での新藤氏入会式について
4. 5月本例会での卓話者と演題について
5. 次期準備の下田会議の日程・場所について
6. シニアY・Y・Yキャンプの最終スケジュール・業務分担

確認について

(今井 記)

出席者:城井、今井、櫻井、神保、鈴木、高津、吉田(司)、吉田(紘)

東京YMCAニュース

◆第16回東京YMCA会員大会

会員大会は、東京YMCAの会員を対象に会則に従い開催されます。東京YMCAの願いや活動・事業を知っていただく大会です。下町子どもダイニングや野尻学荘などの紹介ブースで活動報告も予定されています。ユースリーダーや会員同士の楽しい交流もあります。今回は会員でない方のご参加も大歓迎です。皆さんぜひお誘い合わせの上ご参加ください!

【と き】2018年5月26日(土) 13:30～16:45

【ところ】東京YMCA東陽町センター

【参加費】2,000円(会員) 1,000円(一般)

【申込み】電話・メール・FAXいずれかで会員部まで
kaiin@tokyoymca.org

TEL: 03-6278-9071 FAX: 03-6278-9072

◆第21回東京YMCA会員芸術祭

今年も皆さんの力作が展示される機会がやってきました。ぜひご覧ください。

【と き】2018年5月21日(月)～26日(土)

10:00～18:00(最終日17:00まで)

【ところ】東京YMCA東陽町センター

(星野 記)

4月会計報告他

1. 月間収入・支出合計 期間4/1～4/30

口座名	月間収入額	月間支出額
一般口	20,000円	49,164円
ファンド口	82,055円	20,000円

一般口主要支出 例会弁当代14千円、切手代5千円
卓話者謝礼10千円、DBC交流20千円
ファンド口主要収入 例会スマイル11千円、
櫻印燻製ファンド71千円

(今井 記)

2. リングプル 4月預かり G:グループの略

ご協力者名	重量	ご協力者名	重量
斎藤氏 G	25.0kg	長谷川氏 G	2.8kg
		今月累計	27.8kg

(神保 記)

編集後記

今年の冬は寒かった。ところが、3月になると温かい日々が続く、櫻は例年より10日近く早く満開となり、4月上旬には緑眩しき新緑の候となってしまった。この“異常な季節の移ろい”を喜ぶべきか否か。一方で、国政の任に当たる政府の面々の体たらく、これは“正に悲しむべきこと”間違いなし。

(今井 記)